



## 前津江

## Maetsue



## オ オキツネノカミソリと石のアート

7月28日、八女市矢部村との境上、標高1,209mの御前岳中腹で「オオキツネノカミソリ」が満開を迎え、登山道一体がオレンジ色に染まっていた。この花は、ヒガンバナ科の多年生草木球根植物で、休日になると、この花を見に多くの人が訪れる。また、今年は登山道に「ロックバランシング」と呼ばれる石のアートを発見。絶妙なバランスで積み上げられた奇跡のアートに、訪れた人も魅了されていた。



## 大 きな声で「よろしくお祈いします」

7月5日、前津江小学校体育館で「あいさつ運動対面式」が行われた。近年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止やオンライン開催だったため、今年は4年ぶりに、小・中学生、地域の人、あいさつ運動推進委員が一堂に顔を合わせ「よろしくお祈いします」と大きな声で挨拶を交わした。あいさつ運動推進会長からは「皆さんは地域の人たちから見守られています」と挨拶があった。

## 中津江

## Nakatsue



## 真 夏の湖面に魅せられて

7月29日、下笠ダム湖畔でカヌー体験が実施された。これは、中津江・上津江公民館青少年健全育成事業「津江っ子チャレンジクラブ」の一環で、18人の小・中学生が参加。B&G中津江指導者会の指導のもと、子供たちはカヌーを漕いで楽しんだあとにダム湖の水質を専用キットで検査し、水の大切さを学んだ。カヌー体験を通して地域の自然に触れる夏休みのひとときを過ごした。



## 4年ぶり！老松様の餅搗祭

7月15日、宮園津江神社で県選択無形民俗文化財である、老松様の餅搗祭が4年ぶりに開催された。この祭りは、盗賊退治を祝って餅をついたのが由来で、約800年前から続いていると言われている。氏子たちは、しめこみ姿になって檜の丸木棒を持ち、餅つき唄を歌いながら麦餅をつきあげた。村内外からの見物客も餅つきに参加し、大きな賑わいを見せた。



## 日田

## Hita



## 災 害からの復興を願って

7月21日、認定こども園三隈幼稚園の年長児19人と引率の教諭2人が市役所を訪問し、今年6月から大雨で被災した日田市の今後の復興に役立ててほしいとの願いを込め、災害復興支援金を市に届けた。市は、「皆さんの思いが込められた災害復興支援金。被災された方々や地域のために、大切にに使わせていただきます」と、園児たちの思いとともに受け取った。



## 福 岡の学生と日田の企業が意見交換

7月2日、「ひたで働く魅力発信事業」のイベントが、福岡市の大分県UIターン拠点施設「dot.」で行われた。福岡で暮らす学生などの若者と日田市内の企業が参加するマッチングイベントで、今年で3年目の開催。当日は日田出身者を含む学生9人と市内企業3社の採用担当者等が参加し、日田で働くことに関して活発な意見交換が行われた。なお、今年度はあと3回のイベントを予定している。



## B &amp; G財団から修繕助成決定書を受領

8月8日、日田市天瀬B&G海洋センター修繕助成決定書通知書の授与式が行われた。これは、天井・屋根等の改修や、照明のLED化、トイレの洋式化などの大規模改修を実施する日田市天瀬B&G海洋センターの改修事業の一部を、(公財)B&G財団から助成を受けるもの。市長は「これまで以上の活用に加え、市民のスポーツ実施率の向上や競技スポーツの推進などに取り組んでいきます」と感謝の意を述べた。



## 環 境問題を明るく楽しく学ぶ

8月5日、環境パフォーマーらんま先生のエコ体験教室がパトリア日田小ホールで開催された。らんま先生は、世界一の大型空気砲や汚れた水を浄化する実験を披露。子供たちは、環境問題やSDGsについてジャグリングのパフォーマンスを交えて明るく楽しく学ぶことができた。また、希望する子供全員がステージに立ち、大型空気砲を体験できる場面もあり、発生する渦輪に子供たちの歓声が湧いた。